

長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

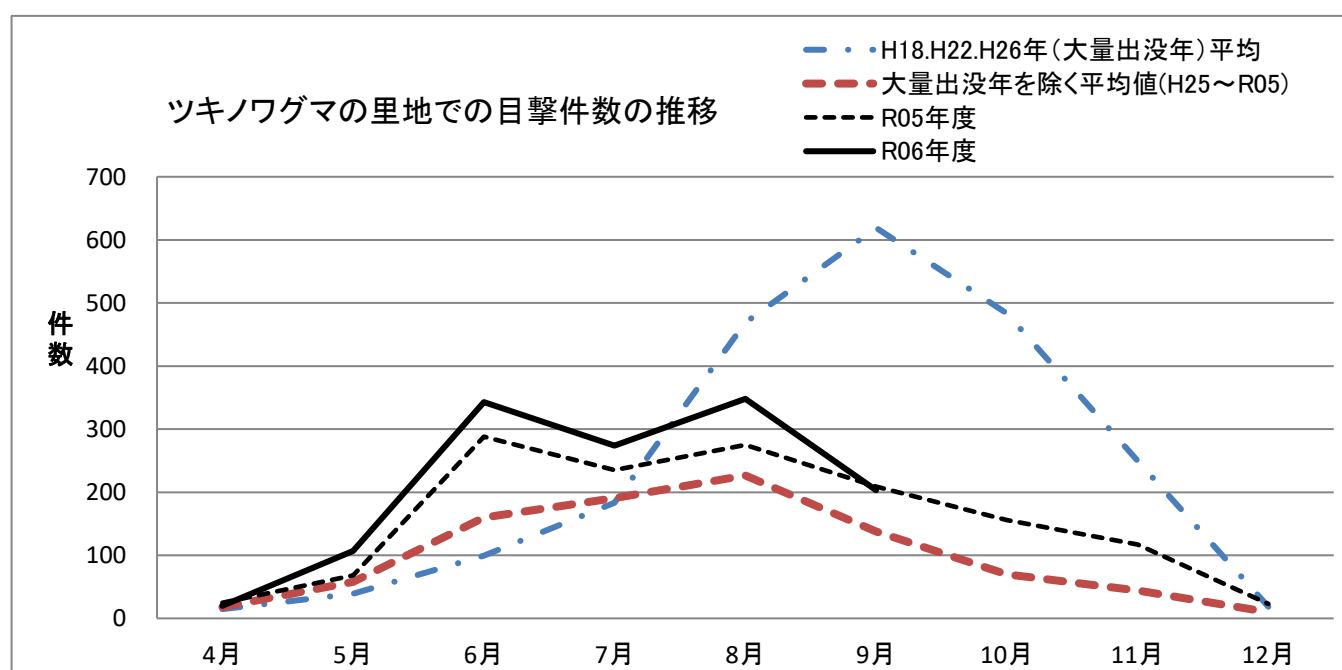
長野県林務部森林づくり推進課

ツキノワグマの里地での目撃件数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 - 3月	4-3月 計	人身被害 件(人)
H18	22	27	108	252	817	909	751	434	42	-	3,362	16(18)
H22	8	38	112	159	327	535	269	139	4	-	1,591	14(14)
H25	14	41	84	89	147	85	12	4	0	-	476	3(3)
H26	14	52	79	138	263	413	430	177	9	-	1,575	31(32)
H27	25	47	134	142	177	37	12	8	0	0	582	6(6)
H28	12	60	137	163	171	118	87	31	6	1	786	9(9)
H29	11	20	91	151	152	128	22	20	3	2	600	6(7)
H30	22	92	183	158	182	55	23	18	9	7	749	5(5)
R01	18	64	196	291	334	207	125	68	16	13	1,332	8(8)
R02	16	50	151	264	411	309	126	86	14	10	1,437	12(12)
R03	16	78	210	266	205	116	83	62	20	3	1,059	16(16)
R04	20	56	124	147	211	113	50	26	9	14	770	8(8)
R05	25	68	288	235	275	209	156	117	23	10	1,406	11(12)
R06	20	107	343	274	348	203					1,295	10(11)

※人身被害は林内での発生も含む。
網掛けのセルは大量出沒年。

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月 累計	人身被害 件(人)
H18. H22. H26年 (大量出沒年) 平均	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2,176	20.3(21.3)
大量出沒年を除く 平均値(H25~ R05)	18	58	160	191	227	138	70	44	10	914	8.4(8.6)
R05年度	25	68	288	235	275	209	156	117	23	1,396	11(12)
R06年度	20	107	343	274	348	203				1,295	10(11)



・平常年は、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。
・大量出沒年では、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響が推察される。

地域別の里地での目撃件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-9月 計	人身被害 件(人)
佐久地域	R06	1	8	20	24	40	34				127	1(1)
	平常年	1	8	14	22	30	11				86	—
上田地域	R06	0	3	1	4	3	0				11	0
	平常年	1	2	4	2	5	2				16	—
諏訪地域	R06	0	2	3	0	7	4				16	0
	平常年	0	1	1	1	2	1				6	—
上伊那地域	R06	0	0	20	17	20	11				68	1(1)
	平常年	0	1	8	9	9	6				33	—
南信州地域	R06	0	5	13	11	10	2				41	2(2)
	平常年	1	3	8	8	11	7				38	—
木曾地域	R06	1	36	91	61	68	55				312	0
	平常年	2	13	40	45	50	41				191	—
松本地域	R06	5	10	28	48	31	25				147	2(2)
	平常年	1	7	24	33	36	15				116	—
北アルプス地域	R06	1	22	69	40	45	8				185	2(3)
	平常年	2	8	27	25	27	27				116	—
長野地域	R06	2	9	54	26	34	12				137	1(1)
	平常年	3	10	20	28	40	17				118	—
北信地域	R06	10	12	44	43	90	52				251	1(1)
	平常年	5	9	24	25	34	24				121	—
計	R06	20	107	343	274	348	203				1,295	10(11)
	平常年	16	62	170	198	244	151				841	—

(人身被害件数は10月5日現在)

堅果類豊凶調査結果

【民有林の結果】		大凶作<凶作<不作<並作下<並作<並作上<豊作<大豊作					
R 6 年度	豊凶判定						
(R5年度)	ミズナラ	コナラ	ブナ	クヌギ	クリ	クルミ	平均
佐久	不作	並作			並作		並作下
上田	並作下	並作下		大豊作	豊作	不作	並作
諏訪	不作	並作下			不作		不作
上伊那	並作下	並作		大凶作			不作
南信州	並作上	不作	不作	並作下	並作上	豊作	並作
木曾	不作	不作	不作		並作下	不作	不作
松本	並作	豊作			並作	豊作	並作上
北アルプス	不作	不作	豊作				並作下
長野	並作下	不作	豊作	並作	豊作		並作
北信	並作下	不作	不作	凶作			不作
判定平均	並作下	並作下	並作	並作下	並作	並作	並作

【国有林の結果】

地域	ブナ	ミズナラ	コナラ
北信	並作上	不作	並作下
中信・木曾	豊作	不作	並作下
東信	—	不作	並作
南信	凶作	並作下	並作

※記載のない枠は、国有林内で十分な調査対象木が選定できず評価できなかったもの

秋のクマに嚴重警戒！

○ 秋のクマは、冬眠に備えて脂肪を蓄えるため、エサを探し回ります

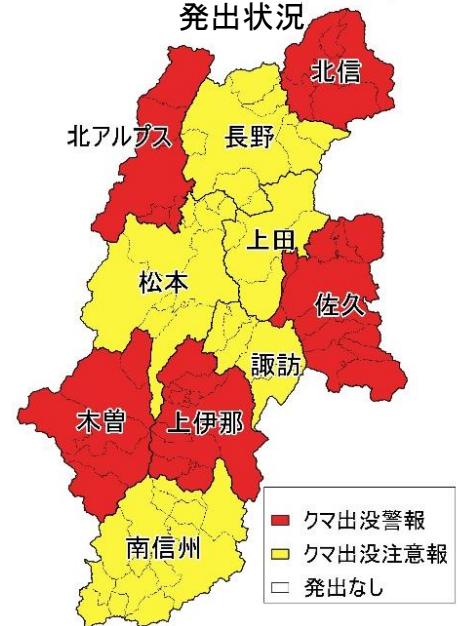
秋のクマは、冬眠に備えてブナ、ミズナラ、コナラ、クリなどのドングリ（堅果）をはじめ、ヤマブドウなど山にある食べ物を、昼も夜も探し回ります。

エサを求めて里地に出没し、カキやクリを食べることもあります。

○ 晩秋から、ツキノワグマは冬眠をはじめます

冬の間は食べ物がいないため、クマは 11 月中旬頃から概ね 12 月末まで^{*}に、冬眠をはじめます。倒木の根本、木の根と地面とのすき間、岩穴、樹洞などのほか、背丈の高い笹ヤブの中などで冬眠しますので、入山時は近寄らないようにしましょう。^{*}時期は目安です。地域やその年の気候により異なります。

ツキノワグマ出沒警報・注意報
発出状況



クマと遭遇したり、里地に近づけたりしないよう下記に注意してください。

◇ 山の中や山の近くでは、クマ鈴、ラジオ、笛などを携帯する

クマは聴覚が人より優れており、人の存在を感じたクマは自ら逃げていきます。

クマ鈴、ラジオ、笛など音の出る物を鳴らして人の存在を知らせながら行動してください。

◇ 山に限らず里地でも、朝夕の行動は避け、行動する場合は複数人で

朝夕はクマが活発に活動する時間帯です。この時間帯に山の中または山の近くで行動することは避けましょう。

また、キノコ狩りや散歩、登山などで山に入る際は、1人で行動せず、複数人で行動しましょう。

◇ 周囲を確認しながら移動する

釣りやキャンプで溪流沿いを移動する場合は、水の音でクマも人もお互いに気付かず、思わぬ距離まで接近してしまうことがあります。またキノコを採る森にはドングリを探すクマも現れます。キノコ等に夢中になりすぎないように周囲を確認しながら移動しましょう。

◇ 食べ物の匂いを漏らさないよう注意する

クマは人間よりはるかに鋭い嗅覚があります。キャンプや登山等で山に食べ物を持ち込む際は、匂いの漏れない袋などへの密閉や残った食材は放置せず持ち帰るなど、クマを誘引しない心がけが必要です。人の食べ物の味を覚えたクマは危険を冒しても出沒を繰り返すようになります。

◆ 里地にクマを寄せ付けない対策を

秋には、カキやクリ、リンゴなど豊かな実りがありますが、果実を収穫せず放置してしまうとクマのエサとなりクマを誘引してしまいます。収穫しない果樹はあらかじめ伐採すること、畑や果樹園等の周囲には電気柵を設置すること、ヤブは刈り払って見通しを確保するなど、クマを寄せ付けない対策をとりましょう。また生ゴミもクマのエサとなります。一度餌付いてしまうとその場所に執着するようになり、クマが人を怖がらなくなるなど、人身事故の可能性が高まります。

※長野県では、ツキノワグマ出沒（目撃）マップを掲載しています。

以下 URL よりご確認ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shinrin/sangyo/ringyo/choju/joho/kuma-map.html>